



尻別川の未来を考える
オビラメの会

OBIRAME
Newsletter

May 2003 no. 14

FEATURES

パタゴニアさんからの助成決定 p 2

2003 年度総会 & 採卵報告会のご案内 — p 2

緊急採卵と人工授精 に成功

釣り人との連携プレーが奏功

「尻別川の未来を考える オビラメの会」(草島清作代表)と北海道立水産孵化場は5月9日、初めて尻別川産のイトウの人工採卵と人工授精を成功させた。受精卵の成長が順調に進めば6月中旬にも待望のオビラメ・ベイビーが孵化し始める。

採卵されたイトウは、体長117センチ、推定年齢17～18歳の雌。採卵の2日前、蘭越町の尻別川本流で、地元在住のAさんが釣り上げた。「生かしたまま自宅の水槽に移したが、お腹から卵がポロポロ漏れ始めている」という情報を受けた「オビラメの会」が、男性に採卵させて欲しいと打診し、快諾をもらった。

採卵と授精は、急きよ現場に駆けつけた道立水産孵化場の川村洋司主任研究員が指揮を執り、細心の注意を払っておこなわれた。雌イトウからは6100粒の卵が採取された。続いて、別に「オビラメの会」が飼育中の

雄(愛称「チビ」)から精子を絞り、卵の一部に授精。残る未受精卵も同日中に道立水産孵化場に搬送され、これまで採取済みだった尻別川産イトウの凍結精子を授精させた。

すべての受精卵は同孵化場で管理され、経過は順調だという。孵化は6月中旬ごろと予想されている。

吉岡俊彦・「オビラメの会」事務局長の話

当会の活動を理解して、雌イトウを快く提供くださったAさんと、これまで会を支えてくれた全てのみなさんにまず感謝申し上げます。「オビラメ30年計画」の最初の難関をクリアできたと思う。得られた稚魚を親になるまで育てれば、尻別イトウの遺伝子を確実に保存することができる。尻別川を再びかつてのようなイトウの川に、という最終的な目標の達成までには、あと28年くらいかかりますが(笑)、これからが本番だと思っています。(談)

オビラメの会 2003 年度総会 & 採卵成功報告会のご案内

「尻別川の未来を考える オビラメの会」2003年度総会を下記要領で開催します。会員の方はどなたでも出席できますので、どうぞふるってご参加ください。「オビラメの会」設立以来の目標のひとつだった尻別イトウの採卵と人工授精に成功した今年は、総

会に引き続き、「採卵成功記念オビラメ報告会—われら遂に授精に成功せり（仮題）—」を開く予定です。報告会は会員以外の方も自由にご参加いただけますので、どうぞお誘い合わせのうえ、ご来場ください。

「尻別川の未来を考える オビラメの会」2003年度総会 「採卵成功記念オビラメ報告会—われら遂に授精に成功せり（仮題）—」

講師 川村洋司氏（北海道立水産孵化場主任研究員、オビラメの会会員）
江戸謙顕氏（北海道環境科学研究センター研究員、オビラメの会会員）

スライド上映

鈴木芳房氏 水中写真家、オビラメの会会員

- とき 2003年6月14日（土曜） 総会／午後2時～ 報告会／午後4時～
- ところ ニセコ町民センター（北海道ニセコ町富士見）
- 入場料 無料（どなたでも参加できます）
- おといあわせ オビラメの会事務局長 吉岡俊彦 電話0136-44-2472

「パタゴニア環境助成金 プログラム」の支援決定

アウトドアウェア販売の「パタゴニア」（本社・アメリカ、日本支社・鎌倉市）が、2003年度も「尻別川の未来を考える オビラメの会」の活動を資金面で援助してくれることが決定しました。同社の「環境助成金プログラム」の適用を受けるもので、金額は80万円。昨年に引き続いて2年連続の援助です。

同社は「自然環境の保護／回復のため、売上げの1%以上を寄付することを誓約」（同社カタログより）しており、日本国内でも積極的に各地のNGOを支援しています。なかでも「オビラメの会」は、同プログラムによる資金援助のほか、玉井秀樹社員（パタゴニア大阪勤務、オビラメの会会員）の尻別川への長期派遣や、「北海道イトウ保護フォーラム」（2002年、ニセコ町）の特別後援など、多大なサポートを受けています。

この支援を無駄にすることなく、「オビラメ復活30年計画」の達成を目指して「オビラメの会」は活動を続けていきます。

☆ 「オビラメの会」はいつも新入会を歓迎します ☆

イトウ保護グループ「尻別川の未来を考えるオビラメの会」は、会費と寄付金などで運営される市民団体です。みなさまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

■年会費 2,000円 ■郵便振替 02720-9-11016 ■加入者名「オビラメの会」

振り込み用紙に住所、氏名、電話番号を明記のうえ、「入会希望」とお書き添え下さい（送金手数料70円はどうぞご負担下さい）。会員期間はお振り込みいただいた日から年度末（毎年5月末）までです。お振り込み後、おおむね1カ月以内に会員証とニュースレター最新号をお届けします。

「オビラメの会」ニュースレター 第14号（03年5月発行）

OBIRAME Newsletter No.14 May 2003

- 発行 尻別川の未来を考える オビラメの会
- 編集 平田剛士 FAX 0125-22-7501 電子メール PXN04427@nifty.com
- 印刷と発送 吉岡俊彦／石崎秀典
- 郵便振替■ 02720-9-11016 加入者名「オビラメの会」
- 「オビラメの会」事務局 ■〒048-1501 北海道虻田郡ニセコ町富士見65「ライズ」内 電話／FAX0136-44-2472

<http://homepage1.nifty.com/hiratatuyosi/Obirame/index.html>

copyright / 2001-2003 Obirame no kai

水と空気、みどりの大自然
ニセコが好きだ
楽しんだあとは川を語ろう

御食事処・酒房

ライズ

ニセコ町富士見65 TEL/FAX 44-2472
Email / itou110@estate.ocn.ne.jp

「オビラメの会」ニュースレター第14号 2003年5月発行